

■人口減少問題への取組み

- 子どものための教育・保育実施事業 **13億2,481万6千円**
国の幼児教育無償化に伴う常設保育所および施設型給付の幼稚園・認定こども園の運営を実施します。
- 子どものための施設等利用給付事業 **1,952万円**
国の幼児教育無償化に伴う従来型幼稚園、預かり保育および認可外保育施設等利用者への負担軽減を図るため給付金を交付します。
- 地域・子ども子育て支援事業 **17万7千円**
一定所得未満世帯または第3子以降を従来型幼稚園に通園させる利用者への、副食費無償化に伴う負担軽減を図るため給付金を交付します。
- ワーケーション推進事業【新規】 **197万3千円**
市の一次産業や自然、歴史や文化、食と健康などをテーマとしたアクティビティの掘り起こしを行い、北斗市オリジナルのワーケーションプログラムを開発し、PRを行います。

- ズーシーほっきーARコンテンツ制作事業【新規】 **155万円**
実在する風景とズーシーほっきーの映像を重ね合わせる技術を活用し、市の魅力発信を強化します。
- シティプロモーション事業 **1,341万3千円**
「音楽のまち・ほくと」を基軸とした本市のまちづくりを紹介する番組制作を、令和2年度・令和3年度に引き続き行います。また、それに加えて本市の充実したスポーツ施設を新たなプロモーションツールとして活用し、道内外の強豪チームを招いたラグビー大会の開催を予定しています。
- 通学定期券購入費補助金【拡充】 **779万8千円**
公共交通の利用促進と子育て世代の経済的負担軽減を図るため、これまでの道南いさりび鉄道のほか新たに、JR北海道および函館バスを追加し、通学定期券購入費の一部助成を拡充します。
- UIターン新規就業支援事業交付金【拡充】 **130万円**
首都圏から移住し、就業の条件を満たした方に対して、移住支援金を交付していますが、新たに18歳未満の世帯員1人につき30万円を加算します。

■力強く成長する産業の形成

- 水産業緊急支援事業【新規】 **6,156万円**
新型コロナウイルス感染症や函館湾での赤潮の影響を受けた水産業について、漁船用機器や漁具などの購入費を一部補助する「漁業経営活性化対策事業補助金」や「茂辺地漁港荷揚設備新設工事」を新規に予定しています。また、そのほかに「カキ養殖推進事業補助金」の補助率を拡充します。
- 商業活性化支援センター大規模改修事業補助金【新規】 **1,241万2千円**
北斗市商工会が施設の長寿命化を目的として令和6年度までの3か年で実施する、上磯駅横にある通称エイド03の大規模改修に対し、補助を行います。
- ワイン振興対策事業【新規】 **47万円**
中長期的に北斗市の魅力を高めることが期待される文月・向野地区におけるワイナリーを核とした産業・起業支援について、関係者からなる「ワインによる地域活性化検討会議」を新たに立ち上げます。

■次代を担う子どもたちへの応援

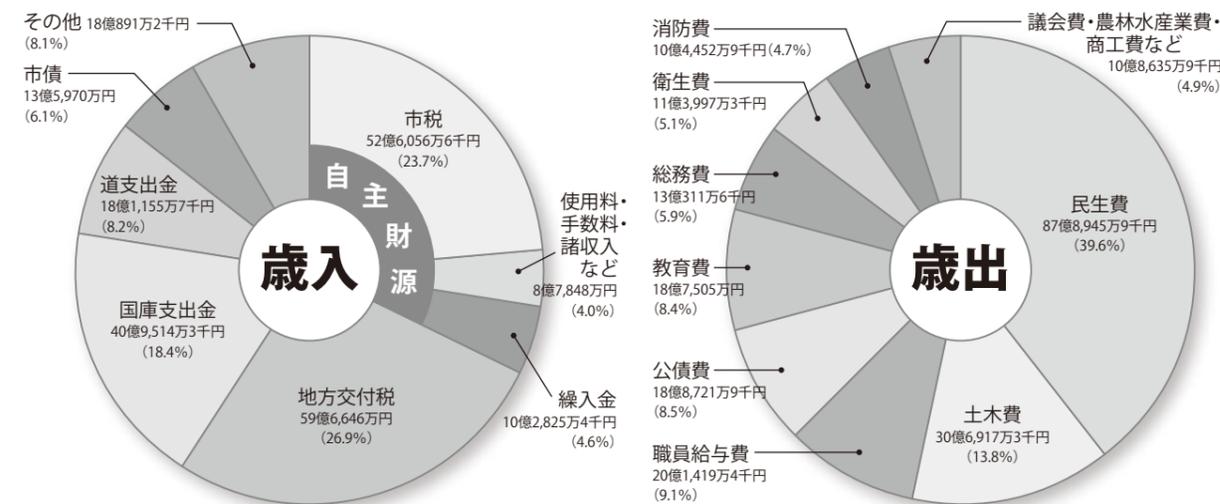
- 児童虐待防止対策事業 **479万1千円**
令和4年度から、「子ども家庭総合支援拠点」を民生部に開設し、児童虐待等の防止に向けた組織体制を強化します。
- 第2子以降の給食費完全無償化【拡充】 **6,513万6千円(軽減額)**
保護者の経済的負担軽減を図るため、第2子以降の学校給食費を完全無償化します。
- 適応指導教室事業【拡充】 **618万5千円**
指導員を1名から3名に増員し、児童生徒をサポートする体制を強化します。
- 学習支援員の配置【拡充】 **4,473万5千円**
支援員を30名から35名に増員し、よりきめ細かな学習支援を実施します。
- 英語検定料補助金【拡充】 **69万5千円**
小学生は対象学年を全学年に、また対象級を英検5級以上に拡大します。中学生は英検3級以上のすべての級を補助対象とします。
- 中学生ピロリ菌除菌治療の無償化【拡充】 **86万8千円**
中学2年生を対象としたピロリ菌検診について、一次および二次検査料に加えて、除菌治療に要する費用を新たに無償化します。
- 弱視早期発見用器具の購入【新規】 **137万5千円**
3歳児検診の視力検査に活用するため、3歳までの早期発見で回復する可能性が高い弱視を自動判定できる器具を購入します。



令和4年度の北斗市各会計予算案は、第1回北斗市議会定例会で3月16日に可決されました。市民の暮らしやまちづくりに使われる予算のすがたとその主な内容を特集してお知らせします。また、令和4年度の新規・拡充事業について、市公式ホームページで詳しく紹介しています。

HP <https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/12396.html>
問 市役所財政課財政係[内線218]

令和4年度 北斗市予算
一般会計 **222億907万2千円**



〈歳入の用語〉

市税	市民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、鉦産税、入湯税
自主財源	使用料・手数料・諸収入など
繰入金	投資的事業の財源など特定の目的に充てる基金(市の貯金)からの繰入金
地方交付税	地方自治体が標準的な行政サービスを実施できるよう、財政需要に応じ、国から交付される財源
国庫支出金	特定の事業や事務に対して国が交付する負担金や補助金、委託金
道支出金	特定の事業や事務に対して道が交付する負担金や補助金、委託金
市債	一時的に多額の資金を必要とする建設事業などの経費に充てる長期借入金
その他	地方譲与税、地方消費税交付金、法人事業税交付金など

〈歳出の用語〉

民生費	児童、高齢者、障がい者、ひとり親家庭の福祉や生活保護、医療助成などの経費
土木費	道路や河川、都市計画、公園、市営住宅などの社会資本の維持や整備に関する経費
職員給与費	特別職や市職員(一般職・会計年度任用職員)の給料、諸手当などの経費
公債費	市の長期借入金(市債)の返済金
教育費	学校教育や生涯学習、文化・スポーツの振興などに関する経費
総務費	市の一般事務をはじめ、移住・定住対策や公共交通、交通安全、住民施設の管理経費など
衛生費	予防接種や各種検診などの保健衛生や、ごみ処理、リサイクルなど環境衛生に関する経費
消防費	北斗市、七飯町、鹿部町で構成する南渡島消防事務組合負担金や災害対策のための経費
議会費、農林水産業費、商工費など	議会費(1億8,764万1千円)、労働費(482万9千円)、農林水産業費(5億1,862万2千円)、商工費(3億4,238万7千円)など

※ 7ページから9ページまで「主な施策」を紹介しています。

■北海道新幹線効果拡大への取組み

- 新函館北斗駅前イベント事業補助金 878万7千円
新函館北斗駅前通を歩行者に開放し、「食」をテーマとしたイベントを6月25日(土)・26日(日)に開催します。北斗市を中心に道南圏や東北地方の新幹線沿線自治体の「食」の提供を想定しています。
- 全国高等学校総合体育大会相撲競技大会運営補助金【新規】 130万円
令和5年度に相撲のインターハイ大会が本市にて開催されることから、その準備や事前の視察、大会開催の地元機運を高める取組みを実施し、北斗市のシティプロモーション促進を図ります。
- 総合体育館正面玄関等改修事業【新規】 6,986万1千円
出入口部の自動ドア化や玄関スペースの拡張、外構部の車いす用スロープの改修など、体育施設の充実を図ります。

■SDGsと都市生活環境づくり

- DX推進支援事業【新規】 400万円
少子高齢化社会などといった環境の変化にも対応できるよう、行政および地域社会のDX推進に向け、アクションプラン等を作成します。
- 電子申請管理システム導入事業【新規】 1,634万4千円
マイナンバーカードを利用した子育てや介護に関する手続き(例:妊娠の届出、要介護・要支援認定の申請、居宅介護住宅改修費の支給申請等)の電子申請を開始します。
- グループウェア導入事業【新規】 396万6千円
職員のスケジュールや業務管理を共有する新たなサービスを導入し、庁内の業務改善を推進します。
- SDGsの普及啓発 20万円
市内事業者や関係団体、市民一人ひとりのSDGsに関する取組みを促進するため、セミナーを開催します。

■持続的で効率的な行財政運営

- 本庁舎施設改修事業 1,322万2千円
本庁舎敷地内に設置されている、老朽化した外灯の改修工事を行います。
- 地方税共通納税システムデータ送受信環境構築事業【新規】 867万4千円
地方税共通納税システム(e L T A X)の対象税目に固定資産税および軽自動車税(種別割)が追加されることに伴う、市側オンラインシステムの改修を行います。

- 軽自動車税納付確認システムデータ送受信環境構築事業【新規】 454万3千円
令和5年1月から軽自動車ワンストップサービスが開始されることに伴う、市側オンラインシステムの改修を行います。
- 収納管理システム改修事業【新規】 257万1千円
令和5年度より学校給食費をコンビニ収納科目に追加することに伴うシステム改修等を行います。

特別会計・企業会計

- 特別会計とは、特定の事業を行うなど一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計をいいます。
※()内は前年比較。
- 国民健康保険事業特別会計 …… 50億4,441万6千円 (+2億3,122万円)
保険税や道からの交付金などを財源に、被保険者の医療費に対し必要な給付を行います。平成30年度から財政運営の責任主体が道となっていますが、市町村と連携し、運営されます。
 - 後期高齢者医療事業特別会計 …… 6億5,048万9千円 (+3,113万6千円)
後期高齢者医療制度加入者の保険料を徴収し、保険者(広域連合)に納付します。
 - 介護保険事業特別会計 …… 45億6,925万円 (▲5,365万2千円)
保険料や国、道、市からの負担金を財源に、被保険者の要介護度に応じた保険給付などを行います。

- 土地区画整理事業特別会計 …… 4,941万9千円 (▲672万1千円)
北海道新幹線新函館北斗駅周辺地区の土地区画整理事業により生じた公債費の償還などを行います。
- 渡島公平委員会特別会計 …… 52万8千円(±0円)
関係市町の負担金により職員の人事上の不服審査を行います。
- 水道事業会計(企業会計)
収益予算 …… 7億1,268万4千円(▲791万6千円)
水道料金を財源に水道水の供給を行います。
資本予算 …… 7億1,543万7千円(▲7,725万7千円)
企業債などを財源に給配水管設備の整備を行います。
- 下水道事業会計(企業会計)
収益予算 …… 11億2,326万3千円(+847万6千円)
下水道使用料を財源に汚水を処理します。
資本予算 …… 9億3,929万1千円(▲4,381万6千円)
企業債などを財源に下水道管などの整備を行います。

■安心できる福祉・暮らしに身近な環境の向上

- 津波ハザードマップの改訂【新規】 538万3千円
北海道が公表した「北海道太平洋沿岸における津波浸水想定区域」を踏まえ、津波ハザードマップを包含した形で「北斗市防災ハンドブック」を改訂します。
- 防災資材購入事業 1,899万3千円
災害備蓄品のほか、大雨時に稼働するポンプなどのために発電機を5台購入します。
- 高齢者識別QRコード付シール配布事業【新規】 22万円
帰宅困難となる可能性がある高齢者を見守る親族等のため、QRコードを読み取ると、自動で家族に通知されるシールを作成・配布します。

- 高齢者見守り確認機器購入補助金【新規】 50万円
カメラ等の高齢者見守り確認機器の購入費を1/2補助(上限10,000円)します。
- 妊婦インフルエンザ予防接種【新規】 51万1千円
接種費用を自己負担1,000円(非課税世帯は無料)とすることにより、免疫力が低下し感染リスクが高い妊婦のインフルエンザ予防接種を促進させます。
- 不妊・不育治療費助成金【拡充】 469万円
令和4年度から保険適用される不妊治療費について、治療に要する費用のほか交通費を含めて完全無償化とします。
- サビエ図書館負担金【新規】 4万円
視覚障害者向けの音声図書や点字図書が充実した電子図書館が、新たに利用可能となります。

■若者や女性、高齢者がチャレンジできる環境づくり

- 商店街等元気づくり事業補助金 4,000万円
商店街の空き店舗を活用し、新たな事業にチャレンジするための改修費用等を助成することで、これまで同様、若者や女性、高齢者の活躍促進を図ります。
- 新規就農者家賃支援事業補助金【新規】 33万6千円
新規就農を希望される方への支援として、研修期間中の家賃を1か月あたり最大28,000円助成します。

- 新規就農者研修施設運営等補助金【新規】 37万7千円
新規就農対策に取り組む「北斗市農業振興対策協議会」に対し、新規就農希望者の確保や研修に要する費用を新函館農業協同組合と共同で支援します。
- 保育士等就労奨励金 10万円
令和3年度に新設した保育士等人材バンクについて、引き続きバンクに新規登録していただいた方へ一人あたり1万円の奨励金を交付します。

■安心・安全な都市環境の整備

- 地域公共交通活性化協議会負担金【新規】 327万円
地域公共交通ガイドマップの作成など、地域公共交通計画に基づく取組みを推進します。また昨年から実証運行している巡回ワゴンについては、利用状況等を踏まえ、今年10月から本格運行に移行する予定です。
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業7,828万円
18歳以上のワクチン3回目接種と、5歳から11歳までの子どもたちに対するワクチン接種などを引き続き実施します。
- ウィズコロナ対応事業 3,589万5千円
市内飲食店などにおける感染予防機器の購入費用に対し、最大30万円を助成する「感染症拡大防止事業補助金」や、市商工会が感染対策に配慮し実施する販売促進事業(LINE広告クーポン事業)に対して事業費の一部を助成する「地域商業ウィズコロナ対策支援事業補助金」などの助成事業を実施します。
- 防犯カメラ設置事業【新規】 98万5千円
特に不審者等の発生が多い中学校区内の公共施設を中心に、防犯カメラを設置します。
- 生活道路の整備 4億3,430万円
千代田第2号線や追分8号線、追分97号線などの継

- 続事業のほか、令和4年度は新たに千代田一本木字界線などの道路改良工事に着手します。
- 河川などの整備 1億1,600万円
継続事業である宗山川、大当別川の整備のほか、新規事業として石別川や当別川の整備、市内内水対策工事を実施します。
 - 街路の整備 1億4,700万7千円
引き続き令和4年度も上磯田園通の整備を行います。
 - 運動公園施設改修事業 4億7,176万8千円
運動公園の大規模リニューアルについては、すべての世代の方に親しまれるような公園を目指すため、令和3年度に実施設計を行なったところですが、令和4年度からは給排水管、親水広場や水飲み場、マンホールトイレの基礎的な工事を行います。引き続き、令和7年度の完成を目指し、整備を進めます。
 - 戸別受信電波中継施設整備工事【新規】 1億3,087万8千円
F Mいるかからの電波が届きにくい、茂辺地・石別・向野・中山地区に中継施設を設置します。それに合わせて、親局となるF Mいるかや本庁舎の操作卓も改修を予定しています。